

## 平成28年度 第2回 長浜市子ども・子育て会議 要点録

日時 平成28年11月1日(火) 午後1時30分～午後3時00分  
場所 長浜市役所西館3階 3-Bコミュニティルーム  
出席者 西川委員、井関委員、服部委員、横山委員、野田委員、長委員、吉井委員、  
山仲委員、池田委員、(9人)

【事務局】健康福祉部長：市川、幼児課：横田、森、川越  
子育て支援課：若林、益田、前畷、涌井、山岸

欠席者 大橋委員、織田委員、宮崎委員、妹尾委員、前田委員、熊谷委員(6人)

傍聴者 1名

《開会》

事務局

それでは定刻になりましたので、ただ今から「平成28年度第2回長浜市子ども・子育て会議」を開催します。

本日の傍聴者は1名おられます。「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」に基づき、本会議は公開となっていますのであらかじめご了承願います。

事務局

続きまして、健康福祉部長よりあいさつ申し上げます。

《部長あいさつ》

事務局

本日の資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただいております資料の他に、本日追加で資料をお配りしていますので、ご確認ください。

・次第

・資料1、2、3、4-1～3

配布物としまして、

・「は～とふる長浜2016」のチラシ

・「赤ちゃんの学校訪問授業」の新聞の写し

お手元がない場合はお知らせください。

また、本日、大橋委員、織田委員、妹尾委員、宮崎委員、前田委員、熊谷委員から欠席の連絡をいただいておりますが本会議は「子ども・子育て会議規則第4条第3項」に規定する過半数の出席がありますので、成立することをここにご報告いたします。

では、議事に入りたいと思います。「子ども・子育て会議規則第4条第2項」により「会長は会議の議長となる」とありますので、ここからの進行は西川会長にお願いいたします。

西川会長

皆さんこんにちは。

第1回の子ども・子育て会議では、活発なご意見をいただき、数値についてもご指摘いただいたので、今日はそれを受けての会議ということになります。

皆さんの忌憚のないご意見をお願いします。

では、(1)長浜市子ども・子育て支援事業計画について①第1回子ども子育て会議の課題整理についてということで、量の見込み、3号認定や放課後児童クラブの提供量を増やしていくべきということについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

では初めに、保育所の現状について、認可外保育園の入所数も合わせまして幼児課から説明いたします。

資料3をご覧ください。

《保育所の現状と今後を説明》

次に放課後児童クラブの現状と今後について説明させていただきます。

資料4-1～4-3をご覧ください

《放課後児童クラブの現状と今後を説明》

西川会長

ありがとうございます。

まず、ご意見をいただく前に質問、もしくはもう少し説明してほしいところはありますか。

吉井委員

資料3の2の右に定員とありますが、合計が定員を超えているものとそうでないものがありますが、どういうことですか。

事務局

例えば北保育園ですと、定員は173に対して平成28年10月現在は209人と定員を超えて入所していただいているということです。

吉井委員

民間保育所は定員を超えているが、市立の幼稚園や認定こども園は定員を下回っているのですが、これはどう解釈したらよいのですか。

事務局

保育園の希望は多いですが幼稚園の希望は少ないということから定員に満たっていないという状況です。

西川会長

つまり1号認定、幼稚園は定員を下回っているが、2号、3号の保育希望は定員を上回っているということですね。定員の何倍までの入所が可能でしたか。

事務局

定員の1.2倍までですが、国の設置基準やそれに伴う職員の配置も考えなくはなりませんので、一概に定員の1.2倍までは受け入れますということではないです。

西川会長

設置基準や職員の配置にもよりますが定員以上は入れるということですね。大きく言いますと、ニーズ量は平成29年度はほぼまかなえるということと理解してよろしいか。

事務局

はい、ほぼまかなえるということで、H29年度の利用定員を設定しています。

西川会長

例えば資料3でいきますと、平成28年10月で4,219人です。H29年度でいきますと4,320人まで行けるといことですので賄えるということですね。資料4でいきますと、H28年度は1,674人に対しH29年度1,827人なのでいけるといことですか。

事務局

いえ、1,674人に未募集と未開設のところを合わせた220人もたすと、1,894人で定員に対しては足りてないですが、民間で定員に達していないところもありますのでなんとかいけると考えております。

会長

例えば、公設の未開設の放課後児童クラブに行くなど多少の無理をすればなんとかまかなえるということですね。

事務局

放課後児童クラブの未開設の地域では遠くて3キロほど離れたところに行ってもらったりしていますが、移動にかかる費用は通所補助という形で保護者に対し、一定軽減させてもらっています。

会長

通所補助をすることで、利用者に不利益が生じないようにしているということですね。

では、ご質問も含めましてご意見はいかがでしょうか。ニーズ量がかなり変わっていますが、それを表わしてもらっていますがどうですか

池田委員

学童をやって1年以上が経ちましたが、予想外のことが開設前と開設後で起きています。送迎なのですが、学年によって当然時間が違うので、何度も往復しないといけない。市では未開設のところは全員タクシーの送迎をしておられるのですか。

事務局

そうです。要綱で定めていまして、保護者に対する補助になります。

長委員

一人当たりの面積の確保はできているというお話でしたが、放課後児童クラブに関して支援員の配置の状況はどうなっているのか教えていただきたいのですが。

西川会長

子どもの人数に対して支援員や保育士の数が適正かということですね。

事務局

保育士につきましては配置基準以上の配置をしています。また、正規雇用の拡充を目指してやっていますが、採用試験は以前より人数が集まらない状況です。幼稚園や保育士免許を持っている人を採用するなど、一定の質の確保もしながら推移しています。

放課後児童クラブに関しては、国では子ども40人に対して支援員を2人配置すると決まっていますが市独自の運営基準があり子どもが36人を超えたら支援員を3人以上配置することになっています。常勤の不足を非常勤で賄いながら、退職者の補充をしているので精いっぱい、ハローワークにも求人を出しっぱなしの状況ですが、それでも支援員の数は不足しています。

会長

数的にはクリアしているが人材の確保が難しいということですが、この問題は長浜だけではないと思います。そのあたり現場としてはどうですか。

長委員

現在はなんとか支援員ががんばっていますが、保育所の資料を見ると数が増えているのでこれがそのまま放課後児童クラブにくるということを考えると不安です。今後、民間と協力しながらやっていく方法がないのかなと思います。

池田委員

資料4-2の研修終了者はどういうことですか。

事務局

資格のない方でも実務経験2年を積むと研修を受けていただけるということです。

野田委員

放課後児童クラブにもしょうがいを持ったお子さんもはいておられますが、別の支援員さんが必要になるのですね。

事務局

1対1ではないですが、全体として加配の支援員を配置しています。

西川会長

こういった人材の確保という面で、施策に反映できるというアイデアはありますか。

アルバイトということで、近隣の大学に声をかけたりはしているのですか。

事務局

もちろんしていますが、これは民間も含め人の取り合いになっています。

また、学生の休業期間がこちらの求めている期間と若干違うこともあり人の確保は難しい状況です。

池田委員

比較的うまくいった事例として、教員試験に受かった人に4月の採用までの期間だけ来てもらうことができました。

西川会長

今は質の確保の議論ですが、今後数の議論になってくると思います。何とかこの会議でアイデアを出してほしいですね。

山仲委員

H28年の3月まで高月地域で放課後児童クラブをやっていましたが、支援員の確保ができず、継続を断念した経緯があります。そこで思ったことは、支援員も女性がするというイメージができてしまっていますが、なかなか女性が午後から夕方の時間に外に出ることが難しいのではないかと思います。もっと男性の支援員が増えるように男性も参画しやすい意識改革をすると良いのではないかと思います。

事務局

確かに面接に来られるのは50台後半の女性か定年退職後の男性が多い

です。

西川会長

自給はいくらですか。

事務局

850円で資格有の人は1,000円です。

西川会長

時給を上あげると応募が殺到した事例がありますが。

事務局

市の中でも他の職員とのバランスもあるのでなかなか難しいです。

横山委員

チラシを配るとかはどうですか。余呉地域では、放課後児童クラブはシルバーさんや地域づくり協議会がするものと思っている人が多いので、小中学校にチラシを配るなど広く呼び掛けてみてはどうですか。

服部委員

資料4-1 民間は、定員よりかなり入所者数が少ないところもありますが、市ではどのように分析しておられるのですか。

事務局

民間の放課後児童クラブに対して、保護者がイメージできていないのではないかと思います。口コミで広がるのに時間がかかるのかなとも思います。初年度はどこの事業所もきついです。2年目からは特色あるのでそうではないのかなとも思います。

池田委員

うちの件で説明しますと、初年度は確かに人数が集まらず苦しかったですが、次の年は人数が増えました。実績が必要だと思います。

井関委員

自治会館での実施などはないのでしょうか。

事務局

今年の2月から、放課後児童クラブのもっと小規模なものに対する補助金をつくりましたので、やってもらえませんかといろんなところに声かけしました。特に長小学区、北小学区は人数が多いですので、自治会などでやっていただきたいのですが、どこも会場や人材・人件費の関係でお断り

でした。

西川会長

大垣でも、空き家でやったらどうかという話も出ていましたが、こうなると1課だけではなく、市を横断的にやらないと無理ですね。ワンストップでいろんな情報が得られるような、コンシェルジュのような人材をつかっていかななくてははいけませんね。

吉井委員

資格がないと放課後児童クラブは運営できないということがネックなのではないですか。

事務局

法に基づくと基準が厳しいですが、もう少し基準がゆるい市単独でのものがあります。

吉井委員

何かあった時に、誰が責任取るのかということが問題ですね。

長委員

神照の「結び」はどういった活動をされているところですか。ああいうのが増えればいいのではないですか。

事務局

そうです。真っ先に声をかけに行きましたが、子育て中のお母さんたちのグループですので、6時頃までの運営は無理ということになりました。

西川会長

次回3月ごろに計画策定といったところになるのですが、事務局は、こういった情報で数値的なもの出していただいて、委員が認識することでそれについて意見交換できればいいのではないのでしょうか。そこからいい意見が出てくるかもしれません。

では、次第のその他ということで事務局からお願いします。

事務局

配布物「は～とふるフォーラム長浜2016」のチラシで子育て応援表彰式の案内と講演会の案内  
「赤ちゃんの学校訪問授業」の新聞記事のコピーによる事業の報告

本日は長時間にわたり、熱心にご審議していただきありがとうございます。  
しました。

これで、平成28年度第2回子ども・子育て会議を終了します。

(閉会)